滿州日報

油豆行情（中歴三月十九日）
豆市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
米市共上車三十七餘輌
豆粕共來七十餘輌
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙　一〆　一圓八十錢
一連紙　一連　一圓
一フールスカツプ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一巻紙　四十枚綴　十四錢

一全三組膳具　一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一鷹筒　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一厨房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一縞毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料
特別廣告　半月以上一ヶ月以內　銀十五仙乃至十仙
一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　（電話二九番）

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

特別廣告

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
● 營口丸　營口出帆　十九日午前出帆　太沽、芝罘、門司、神戸行
● 相模丸　卅一日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行　（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
● 潮洲丸　七月二十日門司行　乘客謝絶
代理店　ブツシユ兄弟商會　東營口公園地横　遠來洋行　（電話二十三番）

瀛船出帆廣告
● 頼朝丸　七月十九日出帆　門司、神戸行
松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二七）

朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部　（電話五二番）

社告
今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也
大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所　横濱　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣

正隆銀行
營業項目
一定期預金（長期存欵）　三ヶ月　五分　六ヶ月挨年五分五厘　一ヶ年　六分
一當座預金（暫存欵）　挨年　四分五厘　日歩　一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存欵）　挨年五分一厘一毛　日歩一錢四厘
一送金爲換取組先（滙兌）　東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財産並に土地建物の管理を引受くること　不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務
軍政署認可
本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷様可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候
● ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）
支配人　深水十八　（電話二百十番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名聲日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳倘可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名咸多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
司理人　葉亮卿謹白

東永茂
開設油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
本號經驗運各種火輪船生意兼賣各種洋什貨鐵石等物
營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許敝行運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧駕本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理部
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、々地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙　朱斐章　王鹿芹　先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　諸貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已　諸公賜顧請　駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

飯塚工程局材料部
營口元神廟前　（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣捌仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

志岐組木材棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨緑兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無悞如蒙貴商光顧請面議是荷
營口西北街（電話十八號）
既設分局　牛家屯車站（電話四十六號）　遼陽、奉天、昌圖各車站

營口
承文信記書坊
現廣西大街粵東會館前阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克已不悞
本號主人謹白

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街
第五號　門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

SP
糸平公司
本舗在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二號）

遼河運輸
同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）嫣唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代々木公司）
日本官煙營口專賣處

社告

我社の一週年　本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記臆すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんことを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を增加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段總振假名附とし眼めて其內容を豐富流麗ならしめんが爲め更に記者を增聘して已に其發途に在り創刊以來殆ど醉生夢死せる我紙は今や滿一年にして始めて活躍の時機に到達しぬ因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁とし記事を精選し趣味を多樣にし以て讀者平生の眷顧に酬ゐんとす其如何なる趣向を以て江湖に見ゆるかは請ふ之を同日の紙上に徵せんことを謹んで豫告す

一、當日の本紙は特に數万枚を增刷し廣く一般に配布するを以て廣告の効能殊に顯著なるを覺ゆ依賴諸君は本月二十日迄に申込まるべし

一、營口占領第二次記念日及び本紙一週年祝賀の詩、歌、俳句等を寄せられんとする諸君は廣告の切期限と同じく二十日迄に編輯局へ投寄を乞ふ

七月　日　滿洲日報社

東京電報

●**滿鐵に關する諸命令**（十五日發）　政府は近日南滿洲鐵道會社に對し權限調査事項等に關する命令を發すべく成るべく早く第一回の委員會を開く筈なり

●**設立委員の種別**（同上）　南滿洲鐵道會社設立委員を種別すれば官吏二十二人、貴族院議員九人、衆議院議員九人、實業家四十人なり

●**師團參謀會議終了**（同上）　十日より參謀本部にて開會せる各師團參謀將校會議は十四日終了せり

●**辻村經理部長の歸任**（同上）　豫て出京中なりし辻村經理部長は昨日東京出發歸任の途に就けり

●**東京市の外債**（十七日發）　東京市は利率五分手取九十五圓六十錢の外債總額一千五百万圓を起すことに決定せり

●**勳績調査結了**（同上）　陸軍の勳績調査は愈〻結了せるを以て近日發表せらるべし

●**大使館設立內定**（同上）　伊太利へ大使館を置くに內定す高平小五郎大使に擬せらる

●**大島大將の入京**（同上）　近衛師團長に親補せられたる大島大將十六日入京參內せり

●**安東縣の紀念日**（同上）　七月十日を以て安東縣の紀念日に定められたり

●**澤柳局長の歸都**（同上）　英國へ出張中なりし文部省普通學務局長澤柳敬太郎氏本日歸朝せり

●**滿洲市場の獨占**（同上）　獨乙の有力なるシンジケートは滿洲各市場を獨占せんとて獨乙製商品を大連營口に大輸出の準備中なりと傳ふ

倫敦電報

●**露國農民の暴行**（十六日發）　露國ヴエローン州に於て亂醉せる農民人家を燒き農作物を破棄する等暴行を逞うし地主等は逃走しつゝあり

雜報

●**東淸鐵道營業狀況**　同鐵道は目下主として軍需品の輸送に止り一般貨物特に滿洲の特產品なる大豆及豆粕等の輸送に關しては他に之を獎勵せさる事情存するが故に其收入も隨て好況ならさるは已むを得さる所なるが大連、昌圖間の幹線及旅順、撫順、營口等の各支線（四百九哩）を合したる五月分の一日收入平均額は一万六千百九十三圓七十八錢即ち一哩平均三十九圓五十九錢四厘にして之を四月分の一哩平均額四十五圓七十四錢六厘、三月分の五十一圓二十一錢に比すれば漸次減少の傾向あれとも這は主として麥粉類の輸入減少に基因する一時の現象に過ぎず尙ほ目下の列車運轉數は大連、石橋、鐵嶺間は每日八回鐵嶺、昌圖間は每日四回にして其內一回宛は軍事專用輸送列車に充て居れりと云ふ

●**列國製艦の統計**　英國政府が白書を以て公示したる海軍が常時建造中の軍艦統計表は左の如し

▲英國　戰鬪艦六隻▲甲裝巡洋艦十隻▲驅逐艦十八隻▲潜航水雷艇十五隻
▲露國　戰鬪艦四隻▲甲裝巡洋艦四隻▲二級同一隻▲驅逐艇三十九隻▲潜航水雷艇十五隻
▲獨逸　戰鬪艦六隻▲甲裝巡洋艦二隻▲二級同上六隻▲驅逐艦六隻▲潜航艇一隻（試建造）
▲米國　戰鬪艦十一隻▲甲裝巡洋艦八隻▲潜航艇四隻
▲日本　戰鬪艦四隻▲甲裝巡洋艦三隻▲二級同上一隻▲驅逐艇廿九隻▲潜航艇二隻

●**寬城子問題交涉**　寬城子停車場問題はポーツマウス條約によつて明確なる規定を缺き同時に福島條約締結の際にも後日日露兩國政府間に協議を重ぬることゝし其儘となり居りしに割讓鐵道引渡の最終期切迫せるより同停車場問題解決の必要に迫られ帝國政府は過般本野公使に電訓し露國政府に交涉せしめたるものなるが我政府の主張は同停車場を日露兩國の共同經營となさんとといふにあり露國政府も略同意すへき模樣なるも同停車場に附屬する廣漠たる土地の處分に關し未た兩國間の協定を見るに至らずと聞く

●**旅行學生の出發日割**　今度文部省より陸軍御用船に便乘し滿韓地方を修學旅行せしむべき學生は總數三千五百名にして第一回六百名は十三日午前赤穗十五日宇品より乘船する筈にて第二回以後の乘船期日は左の如し

第二回六百五十名（十九日門司乘船）▲第三回六百五十名（廿二日宇品乘艦）▲第四回一千名（廿五日宇品乘船）▲第五回六百名（廿九日宇品乘船）

●**學生の滿洲旅行**　夏季六十日の休暇を利用して全國各學生の團體が滿洲の遊歷に從ふへしとは豫て記載せる所なるが今回陸軍省より公然總督府へ其旨通知し來れるを以て總督府に於ては左の如く旅行規定を定めたりといふ

學生滿洲各地旅行に付き規定

一、各學生は陸軍省規定の外左の規定を確守すへし
二、滊車時間宿營地等は變更せず
三、各地に於ける宿舍狹隘に付各班を更に三乃至四組に分ち旅行せしむ
四、各地（大連を除く）に於ける滯在日數發着時間等は各班各組を通して同一とす大連出發日は第一組は上陸日（第一日）の翌日即ち第二日、第二組は第三日、第三組は第四日第四組は第五日
五、給養は旅行者の自辨なるも便宜上左の取計をなす
（一）一日の食料は五十錢を標準とす（二）食事は兵站業務取扱所に於て炊爨す但し不得止地方人に受負はしむることあり（三）食事の受領方法に付ては多數の人員なるを以て混雜なき樣豫め監督者之か規定を設くへし（四）滊車旅行中に要する食品は乘車地に於て兵站業務主任より受領すへし（五）午前六時以後に出發するものは朝食を終り出發すへし
六、旅行途中左の各驛に於て湯茶を準備しあり

普蘭店　北行午後一時五十六分着　同二時十一分發
　　　　南行午後四時四十四分着　同四時五十九分發
得利寺　北行午後四時四十八分着　同五時三分發
熊岳城　北行午後七時四十五分着　同八時五分發
大石橋　北行午後十時三十九分着　同十時五十三分發
營口停車場　南行發車前より

各員は生水を用ゆることを嚴禁せらるへし
七、滿洲に於ける宿舍は狹隘なるを以て時としては天幕を利用することあり
八、深く火災に注意し乘車下車に當ては鐵道員の命を重んし過失なき樣留意せらるへし
九、醫官の附屬しあらさる班中不快のものあれは其輕重に論なく兵站業務主任に屆け診斷を乞ふへし又淸國人の賣りつゝある菓子類は買求むへからす其他各自衛生に注意のこと
十、各團隊にて各地に於て案內者を希望するときは其旨兵站業務主任に申込むへし
十一、毛布借用希望のものは二枚宛貸與す大連上陸後該地兵站主任に付て各團隊每に借用し乘船の際返納すへし

●**鐵嶺重要貨物相場表**

鐵嶺商品陳列館狀況に關しては昨紙同館報告を摘錄して其梗概を報じたるが今同館が鐵嶺附近に於ける重要貨物に就き調査せる相場表を揭ぐれば左の如し但し右調査附は六月三十日なり

品目	數量	價格（銀圓錢）	摘要
天笠木綿	每疋	六、六〇	丈百餘尺巾二尺四寸
仝	仝	九、〇〇	仝
雲濟	仝	五、七〇	丈百餘尺巾二尺二寸
仝	仝	五、〇〇	仝
支那木綿	仝	二、四〇	丈三十三尺巾一尺二寸五分
仝	仝	一、五〇	仝
綿糸	每捆	一二六、四〇	三百二十餘斤
仝	仝	一一六、〇〇	仝
石油	每箱	三、〇〇	
白砂糖	百斤	九、三〇	
仝	仝	八、四〇	
赤砂糖	仝	六、五〇	
麥粉	每袋	二、三〇	四十二斤
燐寸	每箱	四、六〇	二百四十包
埴	百斤	一、八〇	
西洋蠟燭	每箱	六、四〇	六本入二十五包一包十五兩（百三十五匁）
仝	仝	四、五〇	六本入二十五包一包十二兩（百八匁）
大豆	每石	七、六〇	
仝	仝	七、四〇	
黑豆	仝	六、七〇	
綠色小豆	每石	二〇、〇〇	淸人は重に製して豆素麵となす
小豆	仝	一三、〇〇	
支那米	仝	二二、〇〇	
仝	仝	一八、〇〇	
黍	仝	一九、〇〇	
仝	仝	七、八〇	
黃米	仝	一二、〇〇	粟に似て形大なり淸人は專ら是より黃酒を製す
粟	仝	一一、〇〇	
稗	仝	一〇、〇〇	
小麥	仝	一〇、八〇	
豆粕	每塊	一、〇六	
豆油	百斤	九、五〇	
燒酒	仝	九、一〇	
精製蘇	仝	五〇、〇〇	
仝	仝	二五、〇〇	
蘇	仝	二〇、〇〇	
仝	仝	一七、〇〇	
葉煙草	仝	六〇、〇〇	
仝	仝	四〇、〇〇	
仝	仝	五〇、〇〇	
仝	仝	三〇、〇〇	

備考　尺に長尺窄尺の二種あり長尺は我曲尺の一尺七寸八分に相當し窄尺は一尺一寸五分に相當す長尺は重に巾狹布類を量るに用ひ窄尺は絹物及布類の巾廣物を量るに用ゆ
又當地一石は日本一石三斗三升に相當し一斤は日本百四十八匁弱に該當す
本週郵便局爲換平均相場は銀一圓に付金一圓二錢一厘なり

●**不良邦人の內地浸入**　近頃公主陵より海龍城の方面を視察して歸來せし人の談によるに滿洲內地に不良邦人の入り込み居るもの案外に多く彼等は何れも賭博文廻はしを稼業とするものにして地方敦朴の淸人を瞞着し所々に流浪して惡風俗を傳播し地方淸人をして日本人の性狀は皆な彼等の如く陰險劣惡なるものと誤認せしめ其の結果眞面目なる商人等が事業上の調査をなすに方り夥しき障害を蒙むりつゝある例多しと云ふ良民保護の爲めに我が官邊にて何等かの規則を制定され度きものなり

●**遼陽知州の新任披露**　遼陽知州鮮俊英氏は新任披露として去る十五日警務學堂に於て盛莚を張りたるが山中師團長以下幕僚各隊長及水澤軍政官は列席せられたりと云ふ

●**小野氏の出發と後任**　既報の如く遼陽關滿支庫長たりし小野主計正は近衛師團經理部附となり去十六日午後六時發列車にて遼陽發歸朝の途に就かれたるが後任同支庫長一等主計橋元勝造氏は着任されたり

●**遼陽の午砲**　從來遼陽にては通信所に於ける階上の警鐘を以て遼陽時間の正午を報せられたるも遠距離に達せず兎角時間の一致を缺き不便を感ずること多かりしが來る二十日より在遼陽十六師團司令部に於て日本時間の正午を期し午砲を發せらるゝに決したりといへば同地官民の便利は極めて大なるべしといふ

●**指定旅館の增加**（遼陽）　既報の如く遼陽兵站の廢止と共に同地旅館業者の內六戶を選び指定旅館と爲せるが從來同地兵站事務取扱所に於て取扱はれたる最近の旅客數は先づ一日平均四十餘名なりとの事なれば孰れも旅館專業にあらざる既記旅館へ宿泊せしめんとは到底出來得べからざる事なれば六戶の外尙ほ豐成館、玉家、東洋館、盛進館、藝陽亭、浪華館の六戶を加へ都合十二戶を以て指定旅館となすやの說あり其筋に於て目下調査中なりと云へり

●**獨領事の旅行**　獨乙領事メツゲル氏は昨日出發奉天に赴き夫れより南下直ちに大連旅順等の視察をなす由にて其の豫定日數は約一週間なりと云ふ

●**英副領事の着任**　元英國副領事ヒツグス氏の後任として北京公使館附たりしコールス氏は一昨日着任し我が軍政官及び領事と公式訪問を交換したりと云ふ

●**テニス競技の優勝者**　一昨日リクリエーション、グラウンドにて催ほされたるローン、テニス競技會に於いてコーレー夫妻はサンダー夫妻と取り組み最後の勝利を制し與倉中佐の寄附品七寶燒花瓶一對は遂にコーレー夫人の手に落ちたる由なり

●**東西南北**　ムーア提督東京歡迎會席上にお世辭を蒔きて曰ふ主客轉倒英國今や日本に學ぶ時代と一分は事實談と雖も邦人たる者餘り自惚るへからず▲英國將校日本婦人を稱賛して溫良恭謙妻君として世界最良と稱す由來我婦人は溫恭を以て特質と爲す海外の賣ピー白人と軒を並へて互に相營業し白人の同色人に往かずして我に來る者皆之が爲め也▲五月末の調査に據れば在韓邦民數僅に六万七千人を算するに過ぎず鷄林八道已に我手中に歸し而して邦民の移り住する者此の如し朝鮮は畢竟列國の打棄てたる雞の肋骨なればなり▲滿鐵車中馬賊橫行殆と傍若無人を極む露國時代と雖も滊車中の物騷は斯くはあらず戰勝の餘威車中の鼠賊すら何とも思はず以て鼎の輕重を知るに足る▲京電は報ずらく獨乙滿洲の商業市場を獨占せんとし滿洲向商品の輸送準備中に在りと近時東洋に於ける獨乙の商權は年一年より展開し來る我れにして緊褌一番せずんば遂に人の爲めに滿洲を開けるの愚の意ありしと爲す由來呑舟の大魚の逸する天下の常法なり▲陸軍省近時文書の發送に代ふるに電報を以てするの弊を矯めんとし一片の訓令を發す書肆相慶して曰く今よりして後書牘文例なんかいふ書必す軍隊に行はるゝを得んかと其何の故たるを知らず▲昨細雨蕭々滿州是れより漸く雨季に入る源熱稍々減退を見たるは結構なれと泥濘滿路も亦餘りに感服も出來ず滿州の氣候の和順を見るは百年遼河の水の淸まんを望むと相同し

重到北禁記感　浩然

遼南不飮十三年　今日重來非訪賢
襄水直傾成美酒　大江橫斷研淸鮮
元無經略說三割　豈有文章値半錢
到處醉鄉閑自然　此身未繫五湖船

聽雨一律　同

猛雨狂飈打屋鳴　眠醒枕上一燈明
激昂似擊漸離筑　悲憤如聞子胥笙
攪破中原驅馬夢　却成南國惜花情
中宵起坐無窮感　暗簇垂江四野平

汽車　關內外鐵道
上り　營口發前八、三〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后三、四五　二、〇〇　山海關着同六、〇〇　八、一〇
下り　山海關發前七、〇〇　錦州同后三、五五　溝幇子同二、四五　營口着同
東淸鐵道
上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、三〇　[illegible]
下り　大石橋發前八、二三　營口着同[illegible]

淡谷
本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料本油松方料元木大小標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售

會席　營口警務課

和洋諸雜貨食料品卸小賣　奉天小南門ノ後　中越洋行　中越大藥房

天氣　營口地方天氣豫報　自十七日午後六時至十八日午後六時　南の風曇り

雜報

●遼陽滿洲座曾見評（五）　厄介坊

▲同巖島の試合及暗闘　殆と樂屋の總出巖島の大廣間に菊地貞行侯臣下の試合を觀るの態孰れも若武士の殿裝綺羅を飾りて金光燦爛華美なる舞臺面なり、鳥山秋山（伊勢氏）十六年間痴愚夢裡にありし秋作始て貞行侯に拜謁し若武士の筆頭大友岩太郎と試合に勝ち、後ち熱誠を盡して貞行侯に諫言したるが追放の災となる此演技は氏の事とてサラ〳〵とした物、二役の若菜姫花途の六法踏能く出來たり、（作間氏）の豐後輔は前項の通り忠臣の思入不足なく、（春日井氏）の青柳春之助二役村岡新平此又滿足〳〵、（中嶋氏）の雪岡冬次郎非難なく、（坂東氏）の大友岩太郎憶に若武士の筆頭荒武者の所作を失はず惡も能く應へたり、（平川氏）の大友刑部是ぞと手腕を振ふ役にあらざれど惡役に富める同氏扮裝に於て姦臣たるを示し、（増田氏）の貞行侯は暗愚なる大名の型能く努めて見へ其他、近藤氏）の蔭澤夏之丞、（福田氏）の荒金太刀藏、（鈴木氏）の鞁彌九郎、（小杉氏）の中間萬平悉く無難暇なし、暗闘の場は例によりて筆を染むるの要なし、扨て此厄介坊の見たる狂言は此外に出ざれば許するに由なくこれにて評は筆を擱さぬ（終）

●游泳倶樂部の設立

公園地内の游泳池が取締りなき爲めに散々の狼藉を見るに至りて遂に關係外人の軍政署に向つての懇願的屆出でとなり其筋にても亦た其の歎願に同意したるは一昨日の本紙面に載せし如くなるが其の結果昨日に至りて愈々游泳倶樂部の組織成り廣く告示さるゝこととなれり同倶樂部は外人及び日本人の會員を以て組織し會員は一ヶ年銀三圓の會費を負擔するの義務を負ひ此の會費を以て游泳場取締其他の雜費を支辨すべく取締の爲めには特に日本巡捕を派し入場者の會員章（木札）點撿し不頼漢の出入を防ぎて會員游泳の便利を保護することゝなれり正當の主張が最後の勝利を占め亂暴非道が遂に敗滅する神樣の法律はいつか行はれずには濟まぬなり一事は軈がて万事の物指しとかや世間の横道もの等此處の道理をよく考ふべし

●壯俳監獄に繋がる

本紙三面種製造の大株主たる例の營口座壯士俳優伊井薫は一昨夜十時頃突然我牛莊領事館より召喚狀を發せられ盤獄署に留置の身となれりと云ふ今其事件の眞相を聞くに抑も同一座は世間の知る如く最初の請元は二本町菊水樓事楠武次郎なる者にして四五日間無事興行をなしたるも何分揃いも揃ふての未熟の技藝に加へて品行至つて修まらず爲に社會の同情は全く地に墜落し終に請元なる菊水は二百數十圓の損害を被りて止むを得ず手を引きたるに一座の連中は翌日より殆ど糊口に窮し一時中止の悲境に陷り歸國するに旅費なく引續き興行せんとするも錢一文もなき事とて如何とも詮術なく種々協議を凝したる結果終には乞食同樣となり市中慈善家の門を叩きて事情を哀訴し若干金錢の惠みを仰ぎ漸くにして再度の旗を上る事となりツイ二三日以前より開演せしが豫て菊水が請元中同座へ貸し置きたる太鼓を未だ其儘になし置きたるとて屋人をして返却方を催促に遣したる所言葉の行違よりお定りの毆り合ひとなり同樓屋人は二三壯俳の爲に袋叩きとなり向横面をしたゝかに打たれ終には耳の鼓膜を破られて不具の身となりたるを以て當領事館に毆打創傷の告訴をなし斯くは留置の身の上となりたりと破落俳の末路實に天罰にや

●遼陽料理屋見立評（三）　厄介坊

●遼陽倶樂部　と筆太く看板は掲げあるもの其實は營口東雲館の支店にて料理專門の姿位置は北門外とて遼僻地故往復の不便は言はん方なしされど同所には玉突臺据へあれば斯道者の歩を枉けるも一興別に壯宏なる家屋構造と美形に富めるとは同所出色して見へ料理待遇も主人の特質を發揮して負けず劣らぬ所更に妙なり

●滿洲館　滿洲ホテルに擬はらしき同館は北門衛筋是も場所は支那街に只ある一戸の料理店にて知る人は知る不便の位置故其聲さまで高からず料理はお手輕主義なれば反て氣易く中流客多しとかや家の構は宏大なるも客室は一室を除きては他は一夜造の張紙式とてもお話にならずとは言へ行屆きたる對遇は客室の不備を補いて餘ありと傳へらる特に記すべきはお八重なる京美人否生如來は此内にありて數多色餓鬼を濟度しおれりと粹雀の噂なり

●遼陽花柳界の一勢力

と冒頭に掲げ書出す次第と云ふは此迄餘り名の顯はれざる同地陣家街の旗亭吐月は此程代替りとなりたると同時に業務を擴張するに就き目下客室等增築修繕中なるが來る二十日頃數多大和撫し子の新顏さては腕利の藝裙が〳〵今晩はと現はるゝと云へば醉界の爲めに賑はしかるべく是ぞ即ち同地花柳界の一新勢力と云ふべけれ

頭陀袋

女（作文）

女は人間にて作りたる猫なり、隣りのナツちやんは、僕と極く仲善でありけるが、此頃は向ふの惡次郎と流し前でまゝごとばかりして、僕を三言（讒言か）する樣になれり、彼（猫か）は自分の氣の向いた時は咽喉をゴロ〳〵させてさも嬉しさうに甘いるけれど、餘所で面白いことを見ると爪を出して引搔いてすぐ逃けて行てしもふ而して撫でゝやりさへすれば誰でも構はず爪をかくしてジヤラツクものなり、故に僕は猫は大嫌ひなり、隨て人間にて作りたる猫の女も大好かぬ樣になりけり女の記を作る　尋常半年生　日本一郎

投書籠

▲軍票と金票其間如何なる差違あるや否やは別として共に日本政府の發行に係るものなる事は何人と雖も爭はあるまい然るに鐵道提理部のみ何か意見がある樣に出札口に掲示して『乘車券の代價は軍票に限る旨麗々しく書いてある折角發車時間に合ひながら軍票の持合せなき爲め其兩換に手間取り有無形共に意外の損害を蒙るものが甚だ多い殊に新來の邦人は一層迷惑する就中最も甚しきは停車場に出張して居る兩換屋で乘客の足元に付け込み不埒の料金を貪る實に惡みても余あるが亦如何とも爲しがたき場合法外と知りつゝ其請求に應ずる此の不眞極まる兩換屋と出札口の掲示對照する時は其間何等かの秘密が伏在する如く感ぜらるゝ兎に角當局者の一考を煩し度い（奉天より同乘客）▲廿四日の日報俳壇に稻波と云ふ人の發句十二句近頃面白ふ拜見致候若し今後もお暇があらば折々僕等にも見せ呉れたまへ先日から毎日澤山拜見すれども多分は十七文字を連ねたるは嘶の樣にて頓と發句の樣のもの相見へ不申野梅祠宗も御迷惑の事と存候序に野梅先生に御注文致度事は句の「」には何物も御附にならぬが却て宜敷かと存候得共如何（東西南北子）▲三階樓下時計屋に買物に行けば助平らしい顏した娘が出てきてイヤにお世辭を振り撒き品物を高く賣附けようとして困まる娘は娘らしく少しは品行を愼しむべしだ（一塞生）▲一昨夜公園で四十にも近き年増猫散歩の一人に向ひモシ〳〵と小聲で何か耳語袖引ながら第二市場の前で俄に消へ失せたり（黑眼の尾行者）▲金城館の金玉は却々度胸の据つた女だ兄弟の親方を閉口垂して終にタツタ二百兩で足を洗い立派な誤令嬢になつたグナ（自廢の子）▲先達日の碎書籠に滿月のお菊が夜遲く三船寫眞館を襲ふて番的を生捕つたなんかといふ事が書いてありましたがアレは寫眞を取りに來たのですよそれを何ぞや意味あり氣に投書は迷惑至極で御座る其方も素破抜くなら此方も素破拔きがすぞ千あの印刷部の色男さん（三船の番的）▲一夜でも抱いて寢た女が何故憎くからう、ましてお前と菊とは昨日や今日の中なるか言ひ分けするのは其方の馬鹿敗け惜しみチヨイト三艦の番的さんアンマリ逆せ過ると此方本氣で内地以來の事を素破拔くぞ（鐵山皿屋敷色男）

●白川友一退淸を命せらる　鐵道輸送業白川洋行主白川友一は地方の秩序安寧を防害する者と認められ我牛莊領事館より向ふ三ケ年間淸國在留を禁止せられたりと因に彼は該處分に不服を申して外務大臣に取消の申請をなしたりと何處迄も押しの强い男と云ふべし

廣告

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依賴に應す

御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）

東稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發　河北七時發列車に連絡す
東稅關午後六時四十分發　牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發　河北五時四十分着の旅客を迎ふ

營口元神廟街第五十五號
東省巡航公司　謹白
電話番號二百三十六番

來る廿一日土曜日（營口時間）午後六時半より牛家屯關東倉庫營口支庫内に於て早川友吉師の送別會を兼ね在留信徒並に求道者諸君の親睦會相催し度候に付萬障御繰合せ御來會被下度此段御案内申上候
尙は同日午後六時まで河岸通マンチユリヤホテル前棧橋へ御參集被下候はゞ何分遠隔の地故小蒸滊船を以て御送迎可致候に付御婦人の方にも勢々御誘ひ合せ御來會煩し度希望致候

牛莊日本人基督教會　委員

溫泉披露

酷暑の候各位益々御淸福の段奉賀候隨て私儀今回溫泉場新築致工事落成に付本月三日開業仕候間乍御保養御臨浴あらんことを乞ふ
附言　弊店渡淸一周年の祝意として入浴料當分の間普通洗湯と同樣に可致候

本泉効能

一白帶下、弛緩せる分泌多き潰瘍、僂麻質斯、
一手掌足蹠腋窩肛圍陰部等の惡臭を放し多汗症
一濕潤せる皮疹及漫性皮膚病、神經痛

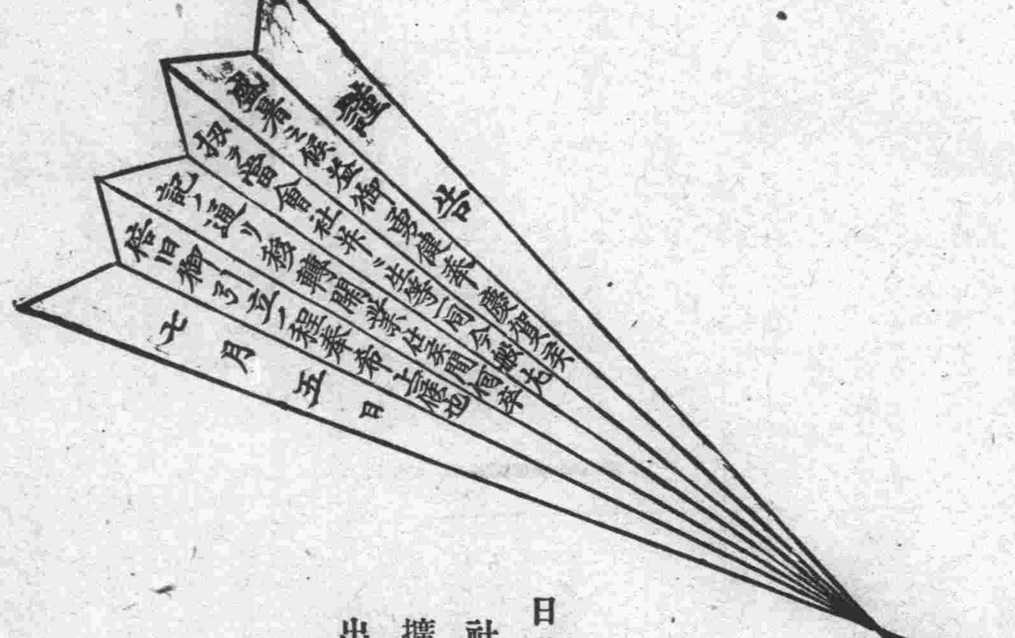
七月　日
營口永世街二本町
常盤溫泉　主人敬白
各位殿

一滊船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場ゟ西へ入る
遼河運漕　**同濟公司**

店料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝憲

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブリツジ街定商會門東
川喜鐵工所

和洋會席　**御料理**
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）
各位樣



營口永世街八一號
第二市場停車場前
（電話一七一番）
日華製藥合資會社
社長　山田長
擴張主任　御前正之助
出納主任　中里巳午太
外一同

美術珍柄種々
新荷着仕候間御來觀の程奉願候
永世街
㋖ **木村呉服店**（電話八十八番）

醇良日本酒
サツポロビール
大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品
千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店　奉天小西關大街路北
孔雀印平野水

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコツチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外
志岐組　商業部

喜久洋行

啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在靑堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙　中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東
本行主人謹白（電話一五二）

○板材木　○金物類　○疊建具　○椅子テーブル　○洋燈類　○鰹節雜魚　○酢醬油
○蚊張　○金庫　○花莚　○ペンキ　○文具　○紙類　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

㊂石光洋行
營口西北街
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着
裝飾用簾　洋食用品　肉碎器　秤卅六貫以下種々　手提金庫　ニツピー用附屬品（電話五號）
窓掛及附屬品　夏帽子各種　戶田式濾水器　宇治新茶　ワイシヤツ及カラー　學校用文房具各種　各種復寫簿
關東公司雜貨部

氷
田庄臺・大盛貯氷公司
發賣元
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衞生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市場前　松木氷室

廣告
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高麥酒スペシヤルライト等
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）
分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組（電話八十六番）

りん病
せうかち
ボーコーカタル
卽ち花柳病の特効新藥
（醫藥學細菌學應用 萬國陸海軍局方參照）
登錄商標

THE RINBYOGAN
一回一九服用
博士
御典藥 複方 麻病丸
藥價 三日分三十戔 七日分五十戔 十五日分壹圓 小包料十戔
韓各有名藥店 取次全國各地及淸
大阪江戶堀下通三丁目（電話西千五十九番）本家 安々堂藥局

複方
痲病丸（白濁羹）
此藥嵩治白濁五淋赤白帶下及痲病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速
批發所　營口永世街警務課東隣
回天堂大藥房
電話百十九號

滿韓境上唯一樂園
五龍背溫泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痲病等ニ特効アリ

石材
石灰
大販賣
英治洋行
（營口西北街）（電話三二）

資本金參拾萬圓
日淸合股

㊂
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨羅兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本賜房及各處分局賜房面議爲荷特謹白傳路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

東京守田
寶丹
本日より發賣
今般營口占領二週年祝として特別廉價販賣仕り候間御用の方は左記の處へ御注文又は來談ありたし
滿洲一手販賣
營口二本町菊水料理店內　東洋堂
永世街　中馬藥店
仝　淺野藥店

風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗溫泉
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
○大石橋—○營口—海城—○湯崗溫泉口全停車塲—○遼陽—○奉天

靴製造
并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
電話百二十七號

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病○專門
日本醫院

松岡病院
牛莊松岡病院
內科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

新着
恵比壽ビール
金升洋行
盛進商行

宮門抄

二十三日

商部　鑾儀衛　廂黃旗值日無引見　新疆提學使杜彤請訓　廣西提學使李翰芬請訓　湖北提學使黃紹箕請訓　湖南提學使吳慶坻請訓　雲南提學使葉爾愷請訓

召見軍機　杜彤　吳慶坻　李翰芬　葉爾愷　黃紹箕

外務部　商部　吳鈁遞封奏各一件

論說

支那之西防

土爾扈特王之留學也。日本人因對于伊犂地方。甚爲注意焉。夫支那之國。面乎東海。其東門一隅。既開放門戶。與世界交通。然北西南三面。環以連山大漠。如拱衛焉。自成支那大帝國之裡門。又其裡門有三。其一通南支那。而入法領(法國領土即緬甸及南等處)之歷路。是爲南門。其二沿東蒙古而穿越滿洲之沃野。是爲北門。其三控西蒙古。而達新疆之遠塞。是爲西門。又北門之中。亦自分三大門。其一自哈克圖經庫倫。駕蒙古以入北京。其二由西部西比利亞入伊犂。過烏魯木齊。以達甘肅之蘭州。其三由俄領。中央亞細鐵道之終點迤東。而踰葱嶺。經喀什噶爾。而入甘肅。即是也。十爾扈特之所在地。扼伊犂天山之北路當衝西門之第二要隘蓋自俄領之地以入北京。其以庫倫爲至便。其距離爲最近。其間并無崇山峻嶺之阻。然其地方之位置偏於東方。若由歐俄本國到此。則不甚便宜。又喀什噶爾自中亞鐵道之終點其距離約不出百里。(日本里數)雖可以直達中國極西之首府。然其間有葱嶺之嶮岨。殆出於想像之外。以其不能不踰一萬五千尺峻嶺之艱險。故其交通極不容易。又由(巴爾噶守湖)南之(謝米列楡斯古)州至伊犂地方。經一流域之大原野。直進南東。更進而入內部。當踰天山。然其阪路之高積。約五六千尺。而不能比於東嶺之嶮峻。其地勢因與西部西比利亞之沃地。相接近。故與其他來往通商最便利之各地。大相懸隔。且一旦有事。釀起變端。其必由此地點無疑也自俄領之中亞。雖未有侵入喀什噶爾之事。然伊犂地方。則大異其趣旨。即距今約三十餘年前之。(古爾細亞)事件。畢竟自西部西比利亞。而侵入伊犂。近者西疆有俄人行動之警報。咸係伊犂方面之事件。蓋自成吉斯汗。及蒙古之諸豪傑。於古代出入於西方。從事於征伐進退。常取此通路。昔者土爾扈特之一族。曾一旦移住俄領臺地。更復歸於舊宗土焉。今度量其住民之大移動。亦因其有此門路也。若無此門路則成吉斯汗之西征。亦不能得手也。且如土爾扈特之大移民。亦必不能也。故就西方各門戶之中。尤以伊犂之關門。爲重要之位置而開最大之便利亦當在此門戶其或釀生最大之禍難。亦必在此門戶也。此吾儕可豫言之。而不敢忌諱者也。夫蒙古自區別漠南漠北及四衛拉之三大部。四衛拉之中。準噶爾。即爲大清朝之所征服。至今日。有土爾伯特土爾扈特和碩特之三者。尚歸中國之所統。此次渡我日本留學之郡王。屬此中之第一員。然於土爾扈特。有東西南北之四路。及新土爾扈特。並中路和碩特等之六部。此留學之郡王。係東路土爾扈特部之藩主。即在西部蒙古一小部之主長。雖非有左右其全部地方之權力。然先覺者之感化力。往往能生意外之結果。故若令該王。能受我日本之教育。而歸故國。則於維新伊犂地方之事物。當非無所補益也。若以是爲嚴重支那西門之鎖鑰。豈不得一助乎。於是該王之留學可以謂爲永遠貢獻中國者矣。今北門僅復康寧。又西門頻傳警報。故竊謂中國今日。宜將滿洲北門之注意。直轉向而爲伊犂西門之防備耳。

中外要聞

●日本林公使到京　新簡日本駐京欽使林權助君於二十三日晚車由津來京日本寓京士商以及華洋官紳約有二百餘名均赴車站迎迓林欽使下車之後向迎接士商殷殷申謝即與日本使署參贊等被日本軍隊護衛入日本使署

●日本裁軍政署日期　日本政府前裁撤奉天軍政署其保護日本僑民一切事務歸于日本總領事館一節已誌前報茲據瀋陽電云日本在遼陽軍政署已於月之十九日裁撤同時開設領事分館辦理一切通商事務並聞昌圖新民屯兩處軍政署於七月內一律裁撤而鐵嶺軍政署於下月內裁撤各處均開設領事分館云

●程德全將實授黑龍江將軍　署理黑龍江將軍程雪帥德全在黑龍江辦理路礦電線學堂工藝森林魚鹽關於吏治與商務各項新政事宜頗能認眞整頓堅持主權俄使因碍於俄人之經營向外部屢屢嘖有煩言然政府毫不爲所動轉因俄使之干預擬即具奏請旨著程德全實授爲黑龍江將軍以杜俄人希冀之狡謀而保我用人之主權

●俄國撤退駐兵　據東京朝日新聞云俄國之東三省撤兵近來漸爲進步吉林地方刻已一律撤退東清鐵路兩旁鐵路守備隊仍舊駐屯其餘一律撤退至哈爾濱駐紮目下俄軍在哈爾濱齊齊哈爾兩處約有二十數萬人駐紮然俄軍仍擬將此等軍隊赶速裁撤

●南北軍大操辦法　聞此次秋操南軍以湖北河南常備軍編成一鎭餘北軍以北洋軍各鎭混成隊編成一鎭餘全軍約共四萬餘名定於九月上旬在河南會演援照上年大操之例屆期允認外國武員內外報館訪事人前往觀操

●議定中國學界宗旨　日前御任貴州學政朱福詵條陳學務事宜一摺已交學部會議現聞榮尙書與嚴侍郞會議深以朱學政之議爲然其大意略以各省學界風潮多爲留學日本學生倡言平等自由之說所激起查外洋學派以德意志之國家學派爲最純正應多派留學生赴德肄業嗣後留學外洋者應注重於德卽以德國之學派爲中國學堂之模範而各省學堂趨向應以忠君尊孔爲第一宗旨如是學生心志庶不致有平等自由之弊云云左丞喬樹枏亦甚贊成其意見刻擬編輯章程奏明頒行各省以便遵行云

●擬整頓八旗辦法　聞某邸與政府各大臣議商擬將八旗認眞整頓實行改良辦法擬定六條　第一條實行調查八旗戶口之確數　第二條凡世職人員嗣後如遇有承襲時非學堂出身領有畢業文憑者概不准襲　第三條不論閑食散餉旗人凡年在二十歲以內者一律送習陸軍　第四條凡年在三十歲以外四十歲以內者飭入警務學堂　第五條凡老弱殘疾昏聵無能者給予墾田若干畝終養　第六條各旗丁凡年及七歲者一律送入小學違者卽罪坐家長

●督撫參預政務　聞政府有議欲以各省將軍督撫一律加以參預政務大臣之兼銜以便參議一切事宜

●咨飭整頓吏治　昨聞內廷人云政府王大臣近因江西官場腐敗曾經面奏　諭旨咨飭江西巡撫務將該省吏治財政兵事認眞整頓力挽頹風並將幕友攬權樹黨勒荐婪索等弊一體嚴行禁革以肅政體而安民生

●請飭速編教科書　王侍御步瀛以現在學堂林立而教科書尙無善本特奏請　飭下學部速編教科書摺上奉　旨學部知部

●照請飭軍政官勿違約章　奉天日本軍政官請將張鎭兵退出二十里之外經趙次帥按約力駁并飭張總兵將兵丁嚴加約束現軍官政仍堅執不允并有若不退出恐有衝突之語趙次帥因電達外部請照會日使速飭軍政官勿違條約云云

●粵省製造舊廠暫不裁撤　日前練兵處咨行粵省將製造舊廠裁撤現粵督以該廠前曾向德商定購新機業已到粵萬難退回特奏請就製造舊廠安配新機一俟南北中三廠成立再行請　旨將舊廠停辦該摺交練兵處議奏現經練兵處議准業于昨日復奏矣

●議准派員赴粵督練　粵督以編練新軍正在需人而粵省人才缺乏不敷差遣日前曾奏請酌調人員赴粵該摺交練兵處議奏現經該處王大臣議復須俟秋操後遴選堪派人員赴粵聽候該署督酌量差委云云

●照復曹兗已無拳匪　日前駐京德葛使照會外部謂山東兗曹等州出有拳匪經部電飭該撫防勦並將情形查復在案現據東撫楊蓮帥復稱四月間兗州有習符匪犯經拿獲多名并派兵防範兗曹一帶巡視河屬安謐等語外部已據情轉復德葛使矣

●車覆壓斃人命　英國格列州與薩斯塞克斯州附近之一高岡有衆客搭乘自動車於下駛之際振機偶誤車竟顚覆壓斃六人受傷者二十人云

●匪魁投降　南亞匪魁美索納以及頭目數人向英政廳已經投降

●俄猶太之避難　俄國瓦爾索埠民心惶惶刻下尤形不靖所有猶太人種四萬人恐身遭危害已於日前禮拜四日老幼婦女相携均避難於他處矣

●英減兵備之籌畫　英國兵部尙書波爾坦君籌劃軍務一節於英本國擬減爲常備兵員二萬人然遇有事故可得增調兵員五倍但此次擬改革組織訓練適宜即將招募之兵及各地方兵員於緩急有事時增成十五萬兵員以濟軍務

●法特列案之判結　法國覆審裁判所宣明將前將士特列菲斯罪案一律作廢並無庸再審

●特比兩君復任　法國政府現已允認議院之禀請仍速使特列菲斯及比克亞杜復任著特君充爲大佐比君旅團長但特列菲斯當充任名譽聯隊之將士云

雜報

●邑侯私訪　昨由蓋平縣來人云新任邑侯馬績卿大令素有政聲民歌孔邇於華歷月之十八日接篆履新後所有房班吏役逐名檢點并勗以勤勉公務勿得怠荒云云次日公乃扮作常人形狀偶於城廂內外私訪民間疾苦市井風情藉以洞悉民瘼俾滋事有著手之處及至巡警營總局先有迎迓新官諸勇隨從數日辨認甚詳預識公之行迹其奉承款待之情態已畢露識公之意故馬公署加覘視恐洩漏春光急旋公署於是闔屬人民聞知咸爲兢兢懔惕鮮有敢於放肆自干咎戾之人云

●勤愼衞生　前數日本埠連朝陰兩地氣發驟上下薰蒸臭惡撲鼻其各巷穢溝污染臭氣尤甚每晨起視直若濁霧迷茫殆爲滋釀時疫之一大原因也因聞埠民或有染腹疾者或有患吐瀉者昨經衞生局日官及警監張君舜卿等時以勤愼衞生爲急務躬自督同諸役到處檢查由設局迄今將及二年毫無疏懈實爲不可多得之員每逢穢地用車中所載之石灰藥湯遍向散布頓覺百臭殺其侵害之氣迨晨間起視溝渠等處濁霧全收氣象澄淨近日埠人所染之病症全行消滅不致滋蔓難圖蓋被葯湯殺絕疫虫無從作勢爲患云

●行車不愼　曩者關帝廟東養車戶王姓人皆以王鬼子稱之其大車前在大官塘沿軋死小兒早誌報端昨午後又係伊之大車四輛同行裝載糖貨至鴻盛利門首忽來牧羊者數人所驅之羊約有二三百頭忽被大車觸倒一頭雖未即時軋斃羊股已斷鮮血淋漓牧羊人將車攬住索令車戶賠償正在爭論不休之際適有來往行人爲之開說車戶始允包賠俟議明羊價必行照數償給云

●馬戲開演　本埠新到東洋馬戲聞已開演昨午有小孩五六人皆騎大馬循行街市笙簧雜奏並聲明演戲處所客商觀者霧屯雲集想此後未經厲目之人爭先覩之爲快該處荒涼之區必更有一番熱鬧矣

●本社總辦來埠　本社總辦中島眞雄君客年回國久養病於青山綠水之間目今病勢痊可精神復元即於西七月十日由神戶埠開帆經大連月之十六日來埠住留日營客棧日日視　社務小作勾留大約二三旬後尙須回國一俟秋爽定當再來云

異聞

●賠欵駭聞　舊金山埠地震之後繼以火災警報紛馳雖傳聞不一要之此次災情實爲歷史上所罕有玆得最近調查謂全埠被毁四分之二其損失之財產値英金六千萬磅(約合華銀六萬萬元)幸大半保有火險故保險行核計賠欵需英金三千五百萬磅(約合華銀二萬萬零五千萬元)現聞保險行家公議此等巨災實由天意非係人謀不可不賠故但須查明確係被災者即當照賠但賠欵至此之鉅洵世界之駭聞更可異者有著名之女伶墨司達墨克路司森盤麗克等三人當地震時俱從睡夢驚醒僅着小衣逃出現其財產悉經損失而保險應賠以一萬萬零一千萬元是幾占全埠三分之一矣以女伶積貲如許不尤令人拍案驚奇哉

淡谷木廠　東青堆子橋南
料理　前南
…以後…林長春ヘハルビン地方ヘ御越シノ方有之上ハ御示談申上度義ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ
豫報　昨日の氣溫　最高溫度八十七度四　高二度二　最低溫度七十一度八　低三度六

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館・料理　第一樓　元神廟街九十六號（電話八四番）　營口ホテル

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

料理　一力　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一六番、四番）　店主　熊田粂次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善蔵

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　高砂ホテル　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

料理　樂々亭　營口元神廟街　店主　武部貞

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主　前田九一郎

料理　萬梅　登瀛門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百五十九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

きるそば　第一更科　營口元神廟街

きるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　店主　住松信太郎

料理　都樓　平野町　店主　阪本ちか

旅館　品川館　營口永世街一六九號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　温泉付大勉強キレーデフイレヒ　奉天小西關大街南側（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　入江熊男（電話　號）

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　奉天小西關大什字街南へ入（電話　）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

御定宿　第二東京館　奉天小西關第五分局八〇一〇號　館主　松田平四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側

料理店　梅松館　館主　押尾富次郎（電話　號）

今回弊館座敷増築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰌井鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願上候

新築廣告

一　貸家　間口三間奥行四間　八戸

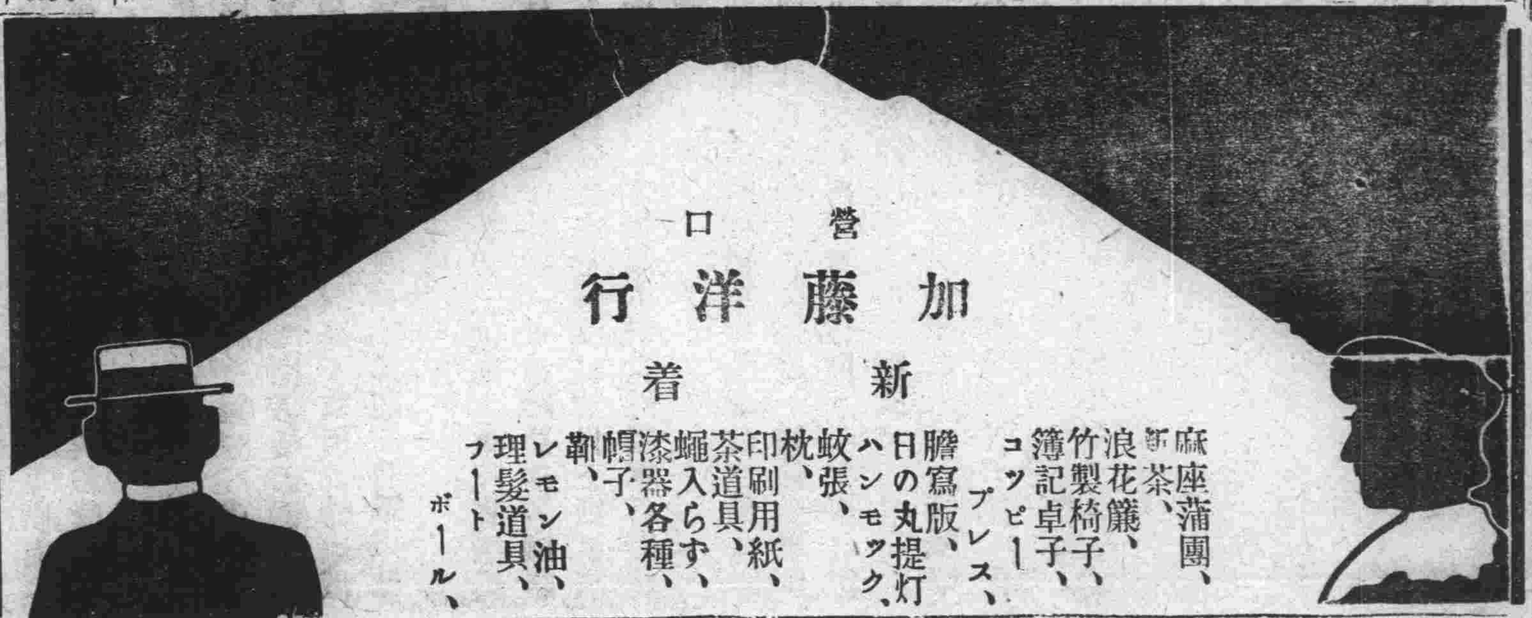
鐵嶺西門外停車場通り商品陳列場附近西洋風日本建

右は鐵嶺屈指の地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ

明治三十九年七月　營口西北街　裕盛號

大鐵嶺東門外街　裕和盛支店

鐵嶺支店雜貨部並に鐵道遼河運輸部をも今時に落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候



◉煉瓦販賣

上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

和洋御料理　高等　遼陽城内東街八九號　遼東館　電話　號

三河樓支店　御料理旅館

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二樓造

屋新築し樓上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主　川上總吉

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候處大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を致し候從つて家屋手狹まを感じ候に付今般新來の業務を擴張し更に本店を當府小西關に新來の營業御設備以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔さを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候　敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は西方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

御料理　本店　奉天小西關新來當街々　金城館（電話十九）

御旅館　奉天小西門街大什字街　金城ホテル（電話一〇）

御料理　支店　營口永世街　金城館（電話八三）

御旅館　支店　營口永世街　金城ホテル

御料理　支店　大連市吉野町　金城館

御旅館　支店　大連市吉野町　金城館

旅館料理　御旅館　扶桑館

奉天大西關大什字街第五分局十〇六十八號　館主　堀田ハル　電話　号

和洋御料理　御旅館　奉天館　奉天軍政署指定旅館　奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）

日清俱樂部　奉天城内大南門裡大街（電話十五番）

麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髮　裁縫

氷御小賣所

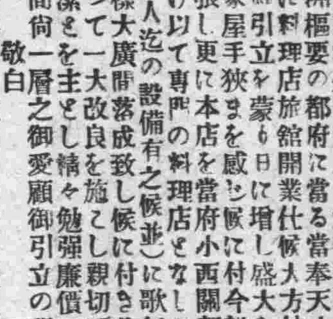
石原商店

軍隊用雜貨　日用品雜貨　呉服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類

御小賣

營口永世街七十號（第二市場東）

其外新荷着精々安價販賣



洋服調製

拜啓各位倍々御清榮之段大賀之至りに存候陳者弊會雜貨部に於て今回洋服調開業と同時に職工を撰み且つ新珍柄取揃大勉强可仕候條多少に不拘御注文被下度奉願上候　敬白

日營貿易商會

上海　中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

土木建築並ニ測量設計請負

營口青堆子綏定門外　志岐組

御披露

小亭義皆樣の御引立を蒙り日に増し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候

月　日　元神廟街　翁亭

氷店

アイスクリーム及洋酒果物等も冷したのを備付至極安價にいたしますから御遊びの節御立寄願ます

公園地　氷店

大原洋行

永世街第廿八號

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約東京タクアン　其外和洋酒類

（無比廉價販賣す）

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇萬事萬端一大刷新を加へ御手輕御消遊に適する樣店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して

御客樣

店一同　奉願上候

營口永世街第壱号　電話四十一番（彌生跡）

醉月

爲替相場（七月十八日）

日本向　百〇一圓七十五錢（東京百圓に付）

上海向　七十一兩二分ノ一（同）

天津向　一百四十四圓十二錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表　加藤洋行

紙類

一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓位

一美濃紙　仝　七圓五十錢

一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢

一仝　二十枚綴　三錢二厘以上四錢

一状袋　百枚　十三錢以上十八錢

室内装飾品及寝具　矢野洋行

一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン　十帖　六圓五十錢以上三十五圓

一疊　二圓六十錢以上三圓

一蒲團　十枚　八圓

一麻緞通　一疊敷　三圓

一綿緞通　仝　三圓五十錢

一中形蚊帳　一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy
80 cts. per month.
30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付　銀四仙

一ケ月前金　銀八十仙

半ケ年前金　四弗八十仙

一ケ年前金　銀九弗六十仙